



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



2024年1月22日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
 代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一
 (コード番号 8925 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役常務執行役員 荻坂昌次郎
 企画本部長
 (TEL 03-5367-2001)

2024年7月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年7月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年7月期第2四半期(累計)連結業績予想(2023年8月1日~2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	2,311	△629	△930	△1,984	△62.50
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2023年7月期第2四半期)	2,897	476	255	188	5.95

2. 修正の理由

当社では、業績が下半期に偏重する傾向が強いことから、上半期の業績を予想することが困難であるために、2024年7月期より、第2四半期連結業績予想数値の公表は行わない方針としておりました。しかしながら、現段階の販売用不動産の売却実績等をもとに、2024年7月期第2四半期連結業績予想値の算出が可能となったため、上記のとおり公表させていただきます。

なお、上記数値となった主な要因としては、2023年11月30日付で当社株式が株式会社

東京証券取引所から特設注意市場銘柄に指定されて以降、少なからず、仕入、売却活動、資金調達等にマイナス影響が出てきており、今後の仕入経費等、必要資金の確保が必要なため、資金回収を優先事項として、在庫の早期売却に努めてまいりましたが、想定どおりの金額での成約に至らなかったこと、また、売上原価に販売用不動産評価損 356 百万円、販管費に社外調査委員会の調査費用や訂正有価証券報告書作成費用等 251 百万円、営業外費用に貸倒引当金繰入額 113 百万円、特別損失にのれんの減損損失 716 百万円等を計上したことなどによるものであります。

3. その他

通期連結業績予想につきましては、2023 年 8 月 31 日付「(開示事項の変更) 販売用不動産の売却決済日の延期に関するお知らせ」において記載のとおり、東京都千代田区に所在する販売用不動産について売却先から売却決済予定日を延期してほしいとの申し出があったことから延期を承諾しておりましたが、その動向を現在も精査中であり、修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

(注) 本資料に記載の業績予想見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上